

Tain Town

東員町

こんにちは！
東員町です。

東員町のシンボル



【町の花】しゃくやく



【町の木】梅



【町の鳥】ひばり



東員町役場 政策課

令和6年4月1日発行

〒511-0295 三重県員弁郡東員町大字山田1600番地

Tel. 0594-86-2800(代) Fax.0594-86-2850 E-mail: toin@town.toin.lg.jp

<https://www.town.toin.lg.jp/>





みえけん いなべぐん どういんちょう
三重県員弁郡東員町データ

人口	25,838人 (男性12,726人 女性13,112人)
世帯数	10,245世帯
面積	22.68 km ²
隣接自治体	桑名市、いなべ市、四日市市
平均気温	16.1℃ (年平均)
最高気温	32.7℃ (8月平均)
最低気温	1.2℃ (1月平均)
幼稚園、保育園	6園 (すべて町立、幼保一体化施設)
小学校	6校 (すべて町立)
中学校	2校 (すべて町立)



出典 住民基本台帳 2023年12月31日現在
気象庁 過去の気象データ 1991年-2020年 観測地 桑名

「ちよこつと田舎、ちよこつと都会」
田舎と都会の良いところが
コンパクトなまちに、ほどよく詰まっています。
冊子を読み進めていただき、東員町のことを
もっと知っていただければ幸いです。

あらためまして、こんにちは。東員町です。
この冊子を手にとっていただき
ありがとうございます。
東員町に興味をもってくださいました
あなたと出会えて
とてもうれしく思います。
東員町は三重県の北部にある小さな町です。
日本一を掲げるような目立ったものは
ありませんが、
健やかにいきいきと暮らせる
環境が自慢です。
高い空が広がるのどかな田園風景、
子どもたちの元気な声、
まちのシンボルでもある中部公園。
黄色い電車が走るローカル線。



ようこそ、コンパクトタウンへ

TOIN TOWN MAP

**都市部への
アクセスが便利**

公共交通機関(電車・バスや東名阪自動車道など)を利用して、名古屋市や四日市市など都市へのアクセスが可能。町内には東海環状自動車道の東員インターがあり、広域へのアクセスも便利です。

**コンパクトな町の中心に
機能が充実!**

コンパクトな町の中心部に、町役場や中部公園、総合文化センター、スタジアム、鉄道駅など、暮らしの様々な機能が集まっています。

東員町は小さな町です。
小さい町だからこそ、暮らしの機能がコンパクトにまとまっています。
南北に約7km東西に約5kmで、町に住む人が買い物や病院などの生活に欠かせない機能にすぐ手が届きます。
また、町の真ん中に大きな公園などの魅力が集約したエリアがあり、とても分かりやすくまとまっています。
北部には大型の住宅団地があり、ここに人口の約半数の人が住んでいます。



東員町役場



猪名部神社のアオバズク



中部公園



LA・PITA東員スタジアム



転作田を利用したコスモス畑



三岐鉄道北勢線



東員駅



東員インターチェンジ

**車やバス、鉄道で
アクセスが便利!**



車	東員町	40分	名古屋駅
鉄道	東員駅	50分	名古屋駅
高速バス	東員町 ネオポリス 団地	50分	名古屋駅 名古屋市栄
車	東員町	60分	中部国際空港 (セントレア)



遊びの広場

カラフルな遊具がひととき目をひく「遊びの広場」。高さ7.2mから滑り出す長さ52mのローラー滑り台をはじめ、安心して伸び伸びと遊べるアスレチック系の遊具が充実。高さ10mの展望台から眺める景色は爽快です。

バーベキュー施設



大小4つのバーベキュースペースを設置。近くには水場やベンチ、トイレもあるので安心です。ファミリーや仲間同士でおいしい時間を満喫できます。

自然の中で思いっきり遊ぶ
みんな大好き
広大なレジャースポット



マメマチCAFE

平常時は中部公園利用者の憩いの場となっているCAFE。災害時には食糧配給拠点、さらに移動式避難施設に変身します。



CHUBU PARK 中部公園

東買町の人気スポットと言えば、町の中心にある中部公園です！中部公園には、子育てファミリーに人気の大型遊具や子どもからお年寄りまでが楽しめるパークゴルフ、季節のイベントなども行われる広い芝生広場などがあります。歩きやすい遊歩道は、ウォーキングやペットとの散歩にも人気です。

パークゴルフ



シャクヤクコース・うめコース・ジュニアコースの計27ホール。日本パークゴルフ協会認定の本格的なコースもあり、子どもからお年寄りまで楽しめます。

地元の魅力を再発見！ 東買町商工祭

東買町を盛り上げたい！とがんばっている地元の企業や生産者のお店が中部公園に大集結。展示、飲食、ゲームなどのほか、豪華賞品が当たる大抽選会やステージショーも開催しています。東買町商工会のイメージキャラクター『とー馬くん』も登場し、訪れる人たちをおもてなし。楽しみながら地元の魅力を再発見する機会になっています。



キッチンカーやお店が芝生広場に大集合 TOINマルシェ

毎年春と秋に中部公園で開催されている「TOINマルシェ」。芝生広場には、町内外から話題のフードやスイーツ、物販のブースがずらりと並びます。アクセサリ作りなどのワークショップ体験コーナー、イベントなど様々なプログラムも用意されており、毎回たくさんの人で賑わいます。





町が子育てをバックアップ

■ 東員町16年一貫教育プラン

すべての子どもたちが、自分の人生をいきいきと歩めるよう策定された、東員町独自の教育プラン。胎児期（～1歳）から義務教育終了（15歳）までの16年にわたり「基本的信頼感」「自己肯定感」「自己有能感」の3感を育むことを目指しています。具体的には、東員学び検定、読書登山、東員なわとび検定などの実践を通して「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つの「生きる力」を育成しています。

■ 子どもの権利条例

平成27年6月「みんなと一歩ずつ未来に向かっていく東員町子どもの権利条例」を制定。11月20日を「とういん子どもの権利の日」と定め、その日を含む1週間を「子どもの権利を考える週間」としています。この週間には、町長も小・中学校へ行き、直接子どもたちと意見交換を行います。



神田小学校で、熱心に意見を交わす町長と児童たち

■ 発達支援室

みえ発達障がい支援システムアドバイザーなどを配置。保健・福祉・教育と連携して、個別の発達相談、言語相談、各園・学校訪問など、幼少期から途切れのない支援を行っています。

■ 子育て支援センター

幼稚園・保育園に入園していないお子さんと保護者が、安心して遊び、子育てについて気軽に語り合える憩いの場です。親子で楽しめる催し、育児相談も行うなど、子育て家庭をサポートしています。



■ すべての小学校区に町立の幼保一体施設と学童保育施設

幼稚園と保育園を一体化した「幼保一体化施設」と学童保育所（公設民営）を町内の小学校区すべてに整備し、子育て支援の充実を図っています。

■ 中学校卒業まで医療費無料

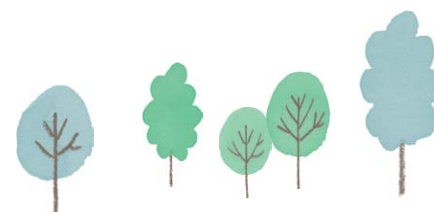
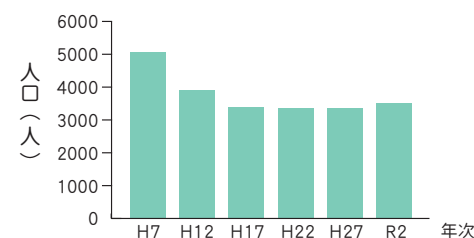
中学校卒業（15歳になる年の年度末）までの子どもが医療機関を受診した場合、医療費の自己負担分を助成しています。

TOPICS

三重県で唯一子どもが増えている町！

令和2年国勢調査では、東員町は、三重県で唯一、年少人口が増えている町です。子育てしやすい町を目指して取り組んできたことが、多くの子育て世代に認められた証かもしれません。これからも、保育・教育の「現場」を手厚く支援し、町全体で子育てをバックアップしていきます。

年少人口
(0～14才)の
推移



豊かな自然と 便利な環境で あなた色の子育てを



ちょこっと田舎、
ちょこっと都会が
ちょうどいい！



子育ての主役は子どもとその家族です。すべての子育て家族が自分色の子育てができるように、町が全力でバックアップしています。東員町の小学校区は全部で6つ。すべての校区に町立の幼稚園と保育園の一体施設があります。中学校区は2つです。こうした体制だからこそ、-1歳から15歳までの16年を一貫してバックアップできる。東員町16年一貫教育が実現できます。

教えて！
夢先生



スポーツを通じた子どもたちのふれあいや町のにぎわいを生み出しています

ヴィアティン三重の現役で活躍する選手が、町内の小中学校などを訪問し、選手の人生経験を伝えること（夢先生で子どもたちが将来の夢を実現するために役立てています）



ホームゲームは
お祭り！

スタジアムに隣接する中部公園と連携したヴィアティンフェスティバルやホームゲーム時のイベントなど、町内外の人が交流できる機会も創出しています。



スポーツに親しみ、
スポーツが
生活の中で生きる

東員町にはプロサッカークラブのホームスタジアムがあります！小さな町から大きな舞台を目指す選手たちの姿に、子どもたちは夢を持つことの素晴らしさを学んでいます。

東員町は生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツが生活の中で生きるまちづくりを進めています。



LA・PITA 東員スタジアム ヴィアティン三重のホームスタジアム。Jリーグ参入規格を満たした照明も整備しています。

東員から
めざせ
Jリーグ！

Skateboard

スケートボード

安藤湊一さん

2014年生まれ。6歳からスケートボードの大会に出場。キッズスケーターの登竜門「FLAKE CUP」をはじめ数々の入賞・優勝経験あり。「技に乗れたときの嬉しさがスケボーの魅力。2028年ロスオリンピックを目指します！」



東員町から世界へ！

スポーツで輝く
子どもたち

スポーツを通じた健康づくりを推進している東員町では、今後のスポーツ界を担う若手アスリートも数多く輩出。これからの活躍がますます楽しみです。

Baton Twirling

バトントワリング



塚本珠夕さん(左) 塚本紗夕さん(右)

2007年生まれ。小学1年からバトンを習い始め、全日本バトントワリング選手権でベア入賞。目標は世界大会出場。「技が決まったときはとても嬉しい。みんなと一緒に踊れることも楽しいです！」(紗夕さん)「バトンは技と美しさを競う芸術スポーツ。技をマスターした時の達成感も魅力です」(珠夕さん)

Golf

ゴルフ

稲葉千乃さん

2004年生まれ。現在は福井工業大学ゴルフ部で活動。常陸宮妃杯第1回全日本女子学生ゴルフ選手権競技優勝(個人の部)。「ツアーで優勝し、みんなに愛されるプロゴルファーになることが目標です」

Swimming

水泳

石垣柊門さん

2010年生まれ。4歳から水泳を始め、50m背泳ぎの小学生日本記録を塗り替えた。三重県ジュニアオリンピックカップでは県新記録を達成し、三重県知事賞を受賞。「夢はオリンピックでの優勝と世界記録の更新！」



子どもたちを笑顔に、
地域と共に夢と感動を！

ヴィアティン三重サッカークラブ

ヴィアティン三重は、東員町のLA・PITA東員スタジアムをホームスタジアムとして、三重県初のJリーグ入りを目指すプロサッカーチームです。ホームゲームでは、たくさんの町民サポーターたちがオレンジのユニフォームに身を包み、熱い声援を送っています。

CLUB DATA

- ◆ホームタウン 東員町・桑名市・いなべ市・木曽岬町・菰野町・川越町・朝日町
- ◆ホームスタジアム LA・PITA 東員スタジアム（東員町スポーツ公園陸上競技場）



「ヴィアティン三重」は、地域に根ざして活動する総合型地域スポーツクラブ。サッカーをはじめ、バスケットボールやバレーボールなど、様々なスポーツを通して地域のコミュニティづくりに貢献しています。

東員町は歌舞伎役者「七世・松本幸四郎」生誕の地。町が生んだ名優を後世に伝えようと、平成7年に「こども歌舞伎」が結成されました。

在籍しているのは、幼稚園児から高校3年生までの子どもたち。日本の伝統文化である歌舞伎を継承するため、日々稽古に励んでいます。その成果は、毎年総合文化センターで行われる「こども歌舞伎公演」で披露。毎回趣向を凝らした演目が上演され、子どもたちは大人顔負けの迫力ある演技をみせてくれます。

東員町こども歌舞伎公演

大人顔負けの本格派!



東員町出身の名優 松本幸四郎

東員町で生まれた七世・松本幸四郎(1870-1949)は、大正昭和を代表する歌舞伎の名優。十代目・松本幸四郎さんや女優・松たか子さんのひいおじいさんにあたります。九世・市川團十郎の芸を継承し、歌舞伎劇「勘進帳」の弁慶役は天下無双とたたえられました。地元が生んだ名優を後世に伝えるため、生誕の地・長深に歌舞伎公園が作られました。



年末の風物詩!



演奏会には、日本語で第九を歌うことで交流を続けている福井県小浜市と神奈川県鎌倉市の合唱団員も駆けつけてくれます。



東員「日本の第九」がスタートしたのは、平成元年。ひばりホールのこけら落としとして始まって以来、毎年12月に開催されています。東員「日本の第九」の特色は、ドイツ語ではなく、作家・なかにし礼氏が作詩した日本語で歌うこと。参加者は、一つひとつの言葉に思いを込めて、丁寧に歌い上げています。また、決まった合唱団があるのではなく、毎年団員を募集していることも東員町ならではの、中学生以上なら誰でも参加できるイベントとして、毎年多くの町民が合唱に参加しています。

東員「日本の第九」演奏会

東員ミュージカル

演劇集団「ローカルスーパースターズ」と町民が一体となって演じる東員ミュージカル。平成25年から始まり、今では毎年恒例の一大イベントとなっています。演目は、町の伝統行事やローカル鉄道など、東員町らしいテーマで上演。オーディションで選ばれた町民も参加し、笑いあり涙ありの感動のステージです。毎回大きなパワーを与えてくれる、町の大切な財産になっています。



東員町には歴代引き継がれている3つの文化事業があります。すべて町民が参加して行われる手作りイベントです。また、文化芸術の作品作りや技能習得などの自己実現もサポートしています。

こうした文化芸術を通して生まれるエネルギーが、まちに活気を生み出しています。

地域の伝統行事も長年受け継がれ、東員町の看板行事になっています。

文化芸術のエネルギーが まちのエネルギーに



六把野獅子舞

毎年春と秋に奉納される獅子舞。獅子に頭をかまれると、無病息災で過ごせるといわれています。平成11年、町の無形民俗文化財に指定。



大社祭 おやしるまつり

毎年4月の第一土曜日・日曜日に猪名部神社で開催される伝統行事です。中でも鎌倉時代から続いていた「上げ馬」神事は、花笠を被った武者姿の少年騎手が祭馬を操り、その年の豊作を祈って疾走してきました。しかし、コロナ禍で神事のノウハウ継承が困難になるなど、環境が大きく変化するなかで、祭を継承していく方法を地域で模索しています。

歴史を
今に受け継ぐ
伝統行事

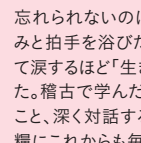


VOICE 公募出演者の声



地域や職場で
知り合いが
増えました。
川島 裕嗣 さん

舞台では足も声も震えるほど緊張しますが、やり遂げた後はなんとも言えない爽快感と充実感が得られます。居心地の良い空間でメンバーとも仲良くなり、毎日が本当に楽しく充実していました。地域とのつながりも増え、日々の彩りを実感しています。



東員町への
転勤をきっかけに
チャレンジ!
高味 愛理 さん



忘れられないのは、お客様の満面の笑みと拍手を浴びたアンコール。感極まって涙するほど「生きる喜び」を実感しました。稽古で学んだのは、人と心で繋がること、深く対話することの大切さ。これを糧にこれからも毎日を生きていきと過ごしたいです。



子どもの頃からの
夢に挑戦して
良かった!
渡部 希 さん

ミュージカルの舞台に立つことは子どもの頃からの夢でした。叶えることができたのは、チャンスをくれた東員町の皆さまの本気のサポートのおかげです。仲間と奏でたハーモニーは最高で、幸せな時間でした。諦めずに挑戦し続けてよかったです!



暮らしをささえる

公共交通を紹介します

町内には、日常生活の移動を支えるコミュニティバスから
広域への移動ができる民間の鉄道やバスがあります。
東員町の中心を横断する基幹鉄道の三岐鉄道北勢線は
100年以上の歴史をもつ全国的にも希少なローカル鉄道です。



三岐鉄道
「西桑名駅」(桑名市)と「阿
下喜駅」(いなべ市)を結ぶ北勢
線は、開業100年を越える
歴史ある鉄道。東員町には、「東
員駅」「六太駅」の2駅がありま
す。コンパクトで可愛い黄色い黄
色の車両は、多くの町民に親し
まれています。町の南部にある
「北勢中央公園駅」からは、
「近鉄富田駅」(四日市)と「西
藤原駅」(いなべ市)を結ぶ三岐
線も利用できます。



北勢線はクリスマス仕様や地元サッカーチーム
「ヴィアティン三重」仕様にラッピングされた
期間限定特別列車も運行



オレンジバス

町内の各地区を巡るコミュニ
ティバスです。「東員駅」「北勢中
央公園駅」「六太駅」はもちろ
ん、町内にあるほとんどのスー
パーや病院にバス停を設置。町
民の日々の暮らしを支えています
。車両は車体が低く、乗り降
りがスムーズ。車いすの方も利
用できます。定期券や回数券、
「おでかけ元気バス」など割引制
度もあります。



まちの小さな
人気者!

三重交通バス

東員町から桑名高校経由で桑
名駅を結ぶ「桑名ネオポリス
線」、名古屋駅を結ぶ「名古屋桑
名高速線」、栄(オアシス21)を結
ぶ「米桑名高速線」、阿下喜(いな
べ市)から桑名駅までを結ぶ「桑
名阿下喜線」が運行中。



まちをPRするラッピングバスも登場

三岐鉄道バス

「東員駅」から「イオンモール
東員」「山城駅」(四日市市)を
結ぶ路線バス。イオンモール東
員に直行できるため、普段の買
い物などに便利です。



駅とイオンモール東員をむすぶ直行便

INFORMATION

コスモス畑にも公共交通が便利!

中部公園や総合文化センター、陸上競技場など町のレジャ
ーススポットへのアクセスも公共交通が便利です。秋になると一
面にコスモスが咲き誇る人
気スポット「コスモス畑」へ
も、オレンジバスがおすすめ
です。毎年咲く場所が変わ
るので、町ホームページで
ご確認ください。

食べ方のアレンジが
豊富なパン

大豆のミルクハース

東員町産の大豆を濃縮した大豆パウダー、
国産小麦粉、生クリームで練り上げた生地
を使用しています。ほんのり甘い味わいと、
ふわっとやわらかい食感が特徴です。
●NINE BAKERY

低糖質&低カロリーで
アレンジもいろいろ

大豆こんにゃく

東員町産の大豆を加工した大豆粉を練り込
みました。たんぱく質と食物繊維を豊富に含
むヘルシーな一品です。煮たり焼いたり、酢味
噌や醤油で刺し身など、お好みの食べ方で。
●水谷蒔商店

大豆がまるごと
入った油揚げ

やみつき油揚げ

東員町産の大豆を微粉砕し、おからを出さ
ずに製造しました。大豆が丸ごと入ってい
るため食物繊維たっぷりヘルシー。環境
にもやさしい油揚げです。
●ミナ産業

体にやさしい
新食感のおやつ

米粉焼きドーナツ

東員町産の米粉で作ったアレゲンフ
リーの生地を油で焼いたヘルシーなド
ーナツ。プレーンはふわふわ、豆乳はもっ
ちもち、ココナッツミルクはぷるぷるの食
感が楽しめます。
●ハビネス be Eat Labo

幸運を呼ぶ
フクロウがモチーフ

ふくろう風鈴

猪名部神社に毎年飛んてくるアオハズクがモ
チーフの風鈴。独自の金属加工技術により、
ガラス製の風鈴よりも高い音色を鳴らします。
受注生産のため、ホームページから注文を。
●伊藤庄 鋳造

大豆粉と米粉を
使ったドーナツ東員町ちりん坂
ころりん焼どーナツ

鳥取地区の「ちりん坂」を転がるイメージで作
られたドーナツ。原料には、東員町産の大豆粉
と米粉を使用。プレーン味と、地酒「里の恵」が
ほんのり香る日本酒味の2種類を販売。
●ラ・ポアル

東員町産の
大豆と米を使用

いずみ味噌

東員町産の大豆が豊かに香る味噌。無添加
でやさしい味わい特徴です。「CAFE&REST
IZUMIKUROがねもーち」では、この味噌を使っ
たカツ丼や味噌汁を楽しむことができます。
●社会福祉法人いずみ



地元愛がたっぷり詰まった

東員町の

特産品

東員町には、地元で生まれた特産品がたくさんあります。
「特産品認定制度」に認定された地元グルメをはじめ、
地元の食材を使ったスイーツ、猪名部神社とゆかりのある
飲み物や工芸品など、種類もさまざま。
東員町への愛がぐっと深まる品々をご紹介します。

猪名部ジンジャーエール

はるすみのよしただ まつ
学問の神様「春澄善縄卿」を祀る猪名部
神社にちなみ、「エール」を送るドリンクとし
て誕生しました。学問のみならず、誰かを
応援したい時や自分を鼓舞したい時にも
おすすめ。
●東員町観光振興会
もっとうぶとういん

神社発ドリンク。
ご利益が
あるかも?

さつまいもアーモンドタルト

栽培から加工まで東員町内で行われる「へに
はるか」100%のペーストを使って焼き上げま
した。さつまいもの自然な甘さとアーモンドの
香ばしさが絶妙なスイーツです。
●まこと商店

まろやかな甘さと
香ばしさで人気

こんにちは！
町長です

【町長メッセージ】MESSAGE

おみごと！が あふれる町へ

心身ともに健やかであること。活動的であること。そして、誰かの活動は誰かの幸せにつながり、その幸せが活動の源となって、また次の幸せにつながる。こうしたみんなの活躍が、東員町のまちづくりの原動力です。目指すのは、「一人ひとりの「おみごと！」な活躍があふれるまち。そんなまちづくりへの思いを町長からお伝えします。

東員町長
水谷俊郎

目指したいのは 「自立したまちづくり」です

新型コロナウイルス感染症の蔓延、多発する災害発生、不安定な国際情勢など、日本を取り巻く環境は厳しい状況にあります。さらに、日本政府（地方政府を含む）の借金 は 天文学的数字となっており、もはや地方自治体が困った

ときに国に頼ればよいという時代ではなくなっています。

こうした情勢の中、東員町が持続可能な自治体として生き残るために必要なことは、自分たちの地域を自分たちでつくるという、町民全体の強い意志であり、自立した取り組みであると思います。

このような方向性を基本としたまちづくりに町民皆さんと一緒に取り組んでいきます。

「稼げる仕組みづくり」を考えています

自立したまちづくりを推進するためには、自主財源の確保が必要不可欠と考えています。

行政面積の3分の1を占める農地を活用し、6次産業化を図ることにより、農業収入を上げるとともに、特産品づくりなどに取り組み、稼ぐ仕組みと稼

せんが、子どもの育ち方で日本の将来は決まるのではないのでしょうか。

東員町では、自分で考え、自分で判断することができ、大人になったときに自立している人材を育むことを目指し「16年一貫教育プラン」を実践しています。そこでは、生まれたときから段階的に「基本的信頼感」「自己肯定感」「自己有能感」の三感を育む取り組みをしており、子どもの自主性を重んじています。本町では、子どもたちが自らの手で創りあげた「子どもの権利条例」が子どもたちの成長を見守っています。

「町民が健康で活躍するために」できることを

本町では、東京大学や企業との「電力データとAIを使ったフレイル検知」の実証実験を経て、フレイル予防の取り組みが始まっています。また、三重

いだお金が町内で循環する仕組みをつくることです。

そのためには、「観光」という視点を取り入れ「健康活躍のまち」東員町にふさわしい、食や体験を提供できるメニューづくりに取り組むとともに、本町でお金を使ってもらうためのハード、ソフト両面での仕組みづくりが必要であると考えています。

大切に育みたいのは 「子どもたちの未来」

日本では、少子化の流れが止まりま

県内初となる町民で組織されたフレイルサポーターの皆さんが地域で活躍されています。

それと同様に、皆さん、社会参加活動が活発で、それが東員町という活力ある地域づくりや町民の健康寿命の延伸につながっています。子ども歌舞伎、東員ミュージカル、東員「日本の第九」演奏会といった3大文化事業だけでなく、皆さんの普段からの活動は、レベルの高い文化・芸術活動や、健康な身体づくりにもつながっています。



「フレイルサポーター養成講座」を開催し、フレイル予防について町民に広める活動を行うボランティアを養成しています。



OMIGOTOIN

健康活躍のまち 東員町

OMIGOTOIN（オミゴトウイン）は「おみごと！」と「東員」をかけたキャッチフレーズです。ロゴの3重マルは、①健康と②活躍の先に③まちの発展があることを表現し、「おみごと！」を称える意味合いも含んでいます。

おみごと！を目指す 5つの重点施策

健康で暮らせるまち

誰もが健康で暮らせるよう、フレイル予防などの健康づくりを進めます。



子育てがしやすいまち

子育て世代にとって安心して子育てができる環境づくりを進めます。



稼げるまち

農業を核とした、新しいまちのブランドとなるような農産物づくりに取り組み、稼げるまちづくりを進めます。



協力しあえるまち

地域の人、企業の皆さん、NPO、ボランティアの方など、様々な人々と協力・協働しながらまちづくりを進めます。



人生を豊かにするまち

文化やスポーツなどを通して、東員町らしさを生み出すまちづくりを進めます。

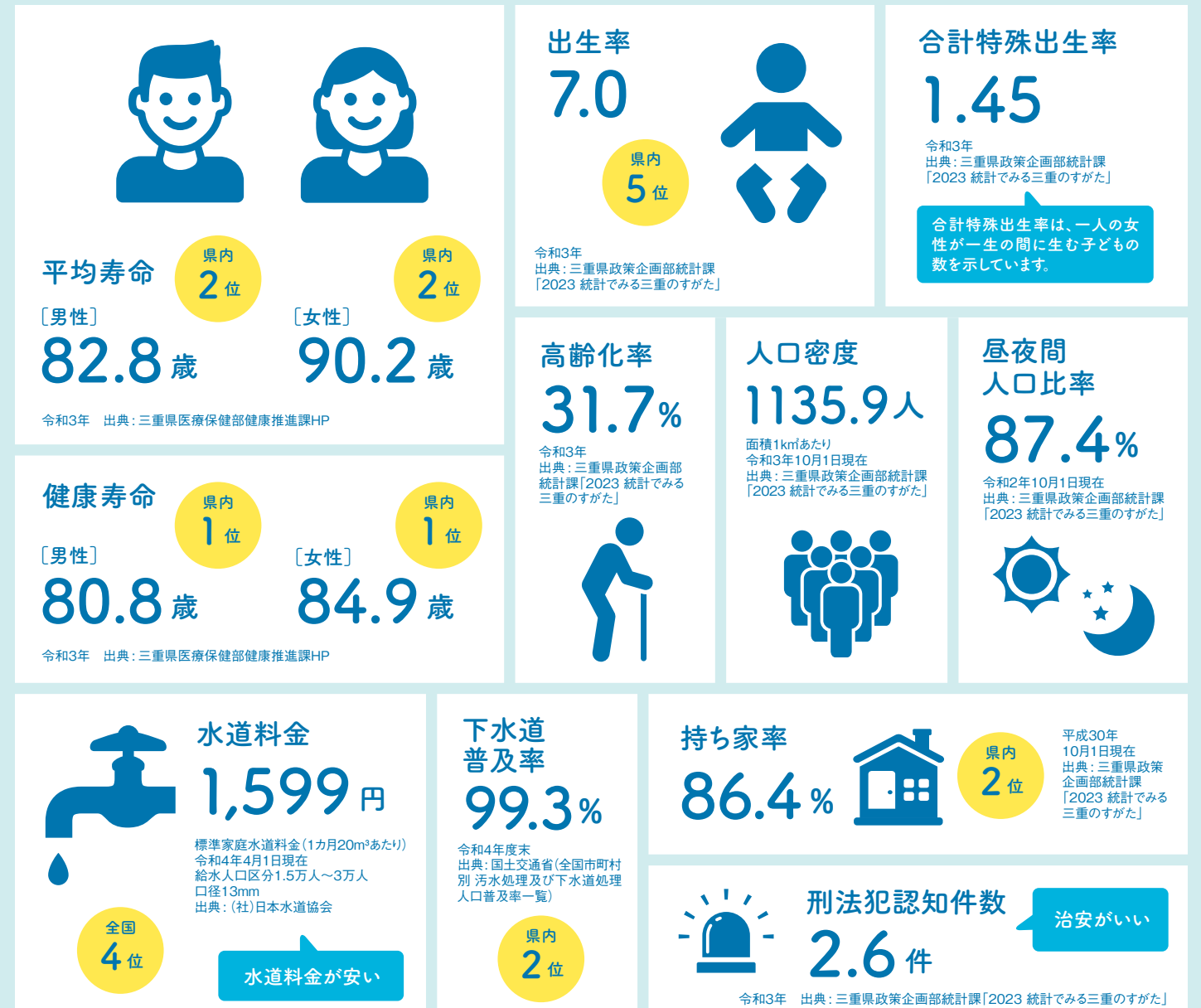


東員町のあゆみ

— TOIN HISTORY —

昭和42年	町制施行、東員町誕生。同時に町章制定
昭和45年	東員町北部上水道となる
昭和46年	県道桑名北勢線戸上川橋完成
昭和47年	北部上水道施設拡張工事完成
昭和49年	西桑名ネオポリス団地造成に着手。団体宮場整備事業八太地区完成。集中豪雨により養父川・山神川氾濫、大社橋橋梁1カ所被害
昭和50年	東員町上水道となる
昭和51年	稲尾地区入居開始。県営緑農住区開発関連土地基盤整備事業東員地区着手。郷土資料館開館
昭和54年	上水道第1次拡張事業第2水源地完成。保健福祉センター完成。町の木（つゆ）町の花（しゃくやく）を指定
昭和55年	役場新庁舎完成。桑名広域清掃事業組合清掃工場ごみ処理開始
昭和56年	稲尾連絡所開所
昭和57年	農産物加工処理センター完成。県営かんがい排水工事完成（神田用水）。第2西桑名ネオポリス開発工事着手
昭和58年	武道館完成。員弁地区救急医療情報センター開設
昭和59年	コンピュータ導入（住民基本台帳）。城山球場、中央球場、中央テニスコート完成。総合体育館完成。合併30周年記念式典挙行。町民憲章制定
昭和60年	防災行政無線を町内全域に設置完了
昭和61年	町の鳥（ひばり）を指定。県営緑農住区開発関連土地基盤整備事業東員地区完成。町民プールオープン。町の人口2万人を突破。町民歌、町民音頭を制作
昭和62年	町制20周年記念行事開催。共同福祉施設、商工会館完成。東員町斎苑開苑。町営墓地公園完成
昭和63年	緑と花のあるまちづくり事業に着手
平成元年	中央大橋完成。総合文化センター完成。東員町史（上下）発刊。第1回東員（日本の第九）演奏会開催
平成2年	下水道整備事業に着手。上水道第2次拡張事業第3水源地完成
平成3年	稲尾コミュニティセンターオープン。ポスト新農構事業に着手
平成4年	陸上競技場完成
平成5年	大社橋完成
平成6年	ふれあいセンター完成。合併40周年記念式典挙行
平成8年	トウインヤエヤマザクラ、町天然記念物指定。第1回こども歌舞伎発表会開催
平成9年	宮川村友好親善提携
平成10年	とついでんプラザチャンネル開局。トウインヤエヤマザクラ第2号、山田半ノ木合イヌナシ自生地、町天然記念物指定
平成11年	印鑑証明書等の自動交付機設置。神田幼稚園・東員保育園新園舎完成。子育て支援センター設置。六把
平成12年	野獅子舞、町無形民俗文化財指定
平成14年	東員町女性消防団員誕生。町営住宅長深団地完成（三重県バリアフリーまちづくり賞受賞。学校給食センター完成。TOYOTI認証取得
平成15年	猪名部神社上げ馬神事、三重県無形民俗文化財指定
平成16年	役場西庁舎完成
平成17年	合併50周年記念式典挙行。東員町中部公園オープン。東員町資源ごみストックヤード完成
平成18年	二岐鉄道北勢線東員駅開業。東員町オレンジバス実証運行開始。第10回こども歌舞伎発表会開催。七世松本幸四郎文銅像建立（総合文化センター）
平成19年	地域包括支援センター設置。中部公園ハーベキュー施設オープン。中学校エアカン設置。ファミリーサポートセンター開設
平成20年	大台町友好親善提携。東員交番完成。防災行政ラジオの有償配布。小学校エアカン設置。行政評価システム導入
平成21年	地震ハザードマップ作成。東員町ホームページリニューアル。行政情報メール配信サービス導入
平成22年	合併55周年記念式典挙行。町民栄誉賞制定
平成23年	旧員弁郡定住自立圏形成協定調印
平成24年	稲尾西学童保育所開設
平成25年	総合体育館体育施設リニューアル。スポーツ協会設立
平成26年	15歳児の幼稚園保育料無料化。発達支援室設置。東員町16年「賞教育」プラン策定。員弁1300年記念事業
平成27年	東員町発「ユニシカル」開催
平成28年	北勢線開業100周年
平成29年	稲部学童クラブリニューアル。農福連携のまちづくりに関する協定調印。子どもの権利条例制定
平成30年	とついでん市民活動支援センター開設。東員インターチェンジ開通
令和元年	町制施行50周年
令和2年	東員町消防団「日本消防協会特別表彰まこと」受章。石垣定哉ミニギャラリー開設
令和3年	スポーツ公園陸上競技場の指定管理者が株式会社グインアイン三重ファミリークラブに決定
令和4年	桑名広域清掃事業組合リサイクルの森 新可燃ごみ焼却施設稼働。第2神田学童保育所開設
令和5年	母子手帳アプリ「母子主」導入。高齢者見守りで協定締結
令和6年	四日市大学と包括連携協定の締結。LA-PITA東員スタジアム「Jリーグ基準の照明設置。マメマチカンオープン
令和7年	東員町デジタル推進計画の包括協定の締結。マメマチラボオープン。電力データとAIによるアウトリーチ型フレイル事業スタート

数字で見る東員町



東員町の偉人 STORY



国内外で高く評価された洋画家

石垣定哉 1947-2023

三重県員弁郡大長村(現在の東員町)南大社で生まれ、子どもの頃から絵画制作を好みました。愛知県立芸術大学卒業後、ニューヨークやパリ、香港など世界を旅しながら絵を学び、個展を開いてきました。1980年代末から90年代前半に各種展覧会で受賞を重ね、洋画界で注目を集めるようになりました。特に、自在に表現する「碧(あお)」の色彩は「イシガキブルー」と呼ばれ、国内外から高い評価を受けました。



武者絵(若い騎士)



朝陽クライスラービル



出版界の老舗・有斐閣社主

江草重忠 1877-1944

法律関係の専門書を出版している有斐閣の社主であった人物。昭和8年(1933年)、出身地神田村(現・神田地区一帯)が農村不況に直面していた折、「神田村江草奨学基金」を設立して郷土の教育振興に大きく貢献しました。



起業家の神様・水産王

石垣隈太郎 1859-1928

大社村(現・北大社地区)で生まれ、30歳で日本郵船を退職し海運業に身を投じました。北洋漁業を切り拓いて遠洋漁業の先駆者となり「水産王」と呼ばれました。その後、関税自主権がなかった時代に外国との貿易を始めるなど「起業」の先覚者となりました。